Jaspers Society of Japan

ヤスパース哲学は宗教哲学か

峰　島　旭　雄

「ヤスパース哲学と宗教」という主題を「ヤスパース哲学は宗教哲学か」というように限定して問題とすることにしたい。

当然のことながら、その場合、宗教哲学なるものをどのようにとらえるかということが前提問題となる。ここでは、宗教哲学とは宗教体験ないし宗教的信仰の哲学的解明であるとしよう。その場合、まずもって宗教体験ないし宗教的信仰ということが前提されていることに注目したい。

ヤスパース哲学がこの意味での宗教哲学と呼ばれるには、ヤスパースにおける宗教体験ないし宗教的信仰（後述の哲学的信仰と区別して）とは何であるか、そしてそのようなものがヤスパース哲学の前提になければならないことになる。ヤスパース哲学には限界状況ないし根本状況として苦・死・争い・責め等が挙げられている。それらはなんらかの意味でキリスト教信仰とかかわると言える。しかしヤスパースはあくまでも哲学者として哲学の根源を求め、哲学的に思索し体験して、これらの根源的要素に到りついたと見ることができる。そのほか包括者、暗号解読、交わり等のヤスパース哲学のいわゆるキー・コンセプトというべきものについても同様である。ヤスパース自身、包括者信仰、暗号信仰、交わり信仰について語り、それらを哲学的信仰と呼んでいる。

このようなことを念頭に置いて、宗教哲学に関して、少なくとも次のような三つの場合が考えられる。

(1)キリスト教信仰から発してその理論化・体系化を哲学を介して行い、宗教ー哲学を構築する。

(2)キリスト教信仰と言わず、なんらかの、あるいはいくつかの宗教的信仰を素材にして、哲学の立場から、宗教ー哲学を構築する。

(3)哲学の立場から、その根源・始源を求めて、究極のものとして宗教ー哲学を構築する。

NII-Electronic Library Service

Jaspers Society of Japan

ヤスパースの場合は(3)の立場であり、それを自ら哲学的信仰と称しているのである。このようなヤスパースの立場は(i)キリスト教ないし仏教とどのようにかかわるか、(ii)かかる哲学的信仰の立場は宗教哲学と言えるかどうか、という問題が生ずる。

(i)－1　キリスト教の立場からすると、原罪、贖罪、復活、終末、神人イエス・キリスト等の教義内容が主題となっていないことから、ヤスパース哲学は宗教哲学――少なくともキリスト教的宗教哲学――とは認めがたいという取り扱いを受けることが予想される。しかし、まさにその点においてキリスト教の根源的なあり方を批判し、現代において根源に立ち戻りつつキリスト教を再把握する営みとして評価することもできる(ツァールントとの対話、参照)。

(i)－2　仏教の立場からは、ヤスパースが西洋哲学者としては例外的に東洋思想ないし仏教思想にも関心をもち、それらを取り上げていること、また例えば主客対立を包み超える包括者の思想と仏教の重々無尽の縁起思想との根源的類似などからして、ヤスパース哲学を(比較)宗教哲学の一つの範例として取り上げうること、などが指摘できる(仏教哲学者の北山淳友のドクター論文「仏教の形而上学」がヤスパースのもとで1927～8年に書かれたことを参照)。

ヤスパース哲学、その哲学的信仰と、キリスト教ないし仏教とのかかわりがこのように微妙に食い違うのは、キリスト教ないし仏教の宗教としての性格の相違によることであろう。キリスト教を背景とするヨーロッパの現代に生まれたヤスパース哲学からキリスト教的なものを抜き去ることはできないとしも、ヤスパース自身親しみと共にへだたりを感ずる仏教に意外に接近しているのは、宗教にして哲学でもある仏教の性格によるのではあるまいか。このことに関連して、次のことが問題となる。

(ii)　ヤスパースの哲学的信仰を宗教哲学と言えるかどうか。これまでもっぱらキリスト教を前提として宗教哲学を考えていた枠域では、哲学的信仰は哲学であって、宗教哲学ではないという捉え方が支配的であると思われるが、仏教をも視野に入れて宗教哲学を「開かれた」ものとして脱構築する立場からは、ヤスパースの哲学的信仰をも宗教哲学とすることは肯定されるのではなかろうか。

NII-Electronic Library Service

Jaspers Society of Japan

以上をとりまとめて、「ヤスパース哲学と宗教」という主題に対しては、ヤスパース哲学は宗教哲学とみなされてよい哲学的信仰を介して、哲学的信仰という＜場＞において宗教とかかわっている、と言うことができると考えられる。そこからして、キリスト教へ、また仏教へとかかわっていく根源・始源が問題とされていると考えられる(ハイデガー『現象学と神学』参照)。

(早稲田大学教授)

NII-Electronic Library Service